



校長室だより

2022年4月8日

校長 小崎 功二



学校 HP

夢いっぱい

郡山小学校には、次のようなスローガン（合い言葉）があります。

「明るいあいさつ・笑顔いっぱい・夢いっぱい・郡山小」

「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」という学校教育目標を具現化するために、「仲良く助け合う子供」「心も体もたくましい子供」「進んで学ぶ子供」という目指す児童の姿を設定し、さらに、子供たちにも意識させるために、上記のスローガンを設定しています。

昨年度は特に「笑顔いっぱい」について子供たちにも問いかけながら、自他の笑顔のために「思いやること」の大切さについて重点的に指導してきました。

今後も人間関係の入口として大切な「挨拶」や「思いやり」についての指導を継続して参ります。それに加えて、今年度はスローガンの中の「夢いっぱい」に焦点を当てて、子供たちに働きかけていきたいと考えています。

以前、世界の飢餓撲滅のための活動を行っているNGOの職員が雑誌に投稿していた記事を読んで、子供たちにとっての「夢」とは何か、その意味について改めて考えさせられたことがありました。今年度、「夢いっぱい」というスローガンについて話す中で、そのとき感じたことを郡山小学校の子供たちにも伝えたいと思っています。以下にその概略を紹介します。

数年前アフリカ、エチオピアの村を訪問した時のことです。村の子供たちが大勢集まって同行した歌手の歌に聞き入っていました。その後、何気なく子供たちに聞いてみました。「皆さんの将来の夢は何ですか？」そこにいた多くの子供たちが少し困ったような顔をしてしばらく考え込んだあと、「トラックの運転手になりたい」「洋裁の仕事がしたい」「学校の先生」などと答えてくれました。エチオピアと言えばマラソン強国であり、マラソン選手と答える子供がいなかったのは意外でしたが、（都市部から遠くはなれたこの村にはテレビもなく自分の国がマラソン強国であるという情報も知らなかったのでしょうか。）それ以上に衝撃的だったのは、その後の地元スタッフからの次の言葉でした。「この子たちの本当の夢は、大人になることなんですよ...」

エチオピアの乳幼児死亡率は1,000人中数十人。治安の悪さや飢餓等もあり、子供たちは、事故や事件、病気などで身近な友達や兄弟が死に行く姿を目の当たりにして「次は自分かもしれない」と恐れと不安を抱えています。生きて、成長して大人になるという私たちにとっては当たり前のことが、この子供たちにとっては、叶うことを願う「夢」なのです。

現在、紛争や戦争に巻き込まれている国や地域の子供たちは、さらに厳しい状況でしょう。

子供たち一人一人が、今考えている将来の夢は何でしょうか。

自分の将来に夢や希望を持ち、その実現に向かって努力することは、それ自体が生きる目的となり、自分を大切にすることにつながります。さらに、子供たちには、自分が夢を持つことの素晴らしさ、夢を持てることへの感謝と共に、未来の子供たちが夢を持てる社会を作り上げ守り育てていく一翼を担うという意識も持たせたいと思っています。自分の夢について考えることが、自分を支えている他人や社会を大切にする心にもつながると思います。まだ、はっきりと夢を描けなくても、まずはその都度、自分は何をしたいのか、それは何のためか、誰のためか等、「やる意味」を考えて取り組ませることから始めます。

毎日、郡山小学校の子供たちの輝く瞳を見つめながら、この子供たちが、さらに、これから生まれてくる子供たちが、将来に夢や希望を持てるような、平和で物心両面共に豊かな世界が、いつまでも続くことを願わずにはいられません。

※裏面も御覧ください。(お知らせがあります)

..... 切り取り線

学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など

2022年4月8日（ ）年（ ）組 児童氏名

「学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など」について

「校長室だより」を御覧いただき、ありがとうございます。教職員・保護者・地域の皆様が、頻繁且つ同時に同じ内容に目を通し、学校経営に対する思いや各種の情報を共有できることを、たいへんありがたく感じております。

「校長室だより」にはさらに、「学校への御意見・御要望・校長に知らせたいこと など」の欄を設けており、保護者の皆様からの御意見や御提案、御要望等を随時吸い上げるという目的もあります。

※御意見・御要望等については、匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただくとありがたいです。(この様式以外でも結構です)

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡ししていただいても、いずれでも結構です。(いつでも結構です)

もちろん、学級についてお気付きのことがあれば、すぐに担任に連絡帳や電話で伝えていただきたいと思っておりますし、担任からも御家庭への情報提供に努めて参りますが、それ以外の情報提供や御意見、御提案、或いは、直接校長にも伝えたいことなどがあれば、お気軽に、気付いたらすぐ、その都度お寄せください。

昨年度頂いた御意見や御提案は、どれも子供たちを思う気持ちに溢れた、学校にとってたいへん有り難いものばかりでした。今年度も一つ一つの御意見、御要望をしっかりと受け止め、大切な子供たちのために、誠意を持って迅速に対応したり学校運営に生かしたりして参ります。

今後も「学校だより」「校長室だより」「学年・学級だより」「保健だより」「給食だより」「学校ホームページ(ブログ)」等、学校からの情報発信に努め、保護者の皆様と手を携えて、相互理解と信頼関係構築のために努力して参ります。

今年度も変わらぬ御理解、御協力、御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

「校長室だより」町内会回覧の御礼

今年度も、毎月発行する学校だより「ふるさとこおりやま」に加えて、この「校長室だより」も各町内会で回覧していただけることを、たいへんありがたく思っております。

今年度も学校の情報や校長の考え等を積極的に発信し、保護者や地域の皆様と共有し、御意見や御提案なども頂戴して双方向の関係を築きながら、郡山小学校がこれまで築いてきた「学校・家庭・地域が一体となって子供たちを大切に育む環境」を、更に強固なものにしていきたいと考えております。

各町内会の担当者の皆様には、回覧用に班ごとに振り分ける作業など、大きな御負担をおかけしていることと思っております。申し訳ございません。改めて、御協力に深く感謝申し上げます。

今後も御理解と御協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。